



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月31日

上場会社名 株式会社北日本銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8551 URL <https://www.kitagin.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 石塚 恭路  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 小寺 雄太 (TEL) 019-653-1111  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,493	0.6	511	15.4	297	10.7
2020年3月期第1四半期	5,459	3.2	443	△3.6	269	△5.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,452百万円( —%) 2020年3月期第1四半期 124百万円(△70.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	35.33	35.08
2020年3月期第1四半期	31.45	31.15

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,488,742	70,621	4.7
2020年3月期	1,405,248	69,422	4.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 70,468百万円 2020年3月期 69,269百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。  
 なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,900	△9.6	700	△55.6	500	△33.2	59.31
通期	20,700	△4.6	2,100	△12.1	1,300	0.7	154.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	8,793,776株	2020年3月期	8,793,776株
2021年3月期1Q	364,330株	2020年3月期	364,140株
2021年3月期1Q	8,429,512株	2020年3月期1Q	8,555,118株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料

目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P. 4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 6
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P. 6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	P. 6
(追加情報) .....	P. 6
2021年3月期 第1四半期決算説明資料 .....	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期（2020年4月1日～2020年6月30日）の経常収益は、資金運用収益が減少したものの、リース関連収益が増加したことなどから、前年同四半期比34百万円増加して5,493百万円となりました。

経常費用は、営業経費が減少したことなどにより、前年同四半期比35百万円減少して4,981百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同四半期比68百万円増加の511百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比28百万円増加の297百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

預金残高（譲渡性預金含む）は、個人預金および法人預金が増加したことなどから、前連結会計年度末比717億円増加して1兆3,870億円となりました。

貸出金残高は、事業性貸出金が増加したことなどから、前連結会計年度末比165億円増加して9,177億円となりました。

有価証券残高については、国内外の投資環境や市場動向に留意した取り組みの結果、前連結会計年度末比88百万円増加して3,493億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想については、2020年5月14日公表の数値から変更はございません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	103,894	177,314
コールローン及び買入手形	8,497	8,012
買入金銭債権	387	403
商品有価証券	103	103
金銭の信託	7,950	3,116
有価証券	349,279	349,367
貸出金	901,273	917,799
外国為替	2,467	1,197
リース債権及びリース投資資産	7,346	7,395
その他資産	8,458	9,845
有形固定資産	15,394	15,345
無形固定資産	577	556
退職給付に係る資産	606	628
繰延税金資産	639	145
支払承諾見返	4,606	3,794
貸倒引当金	△6,235	△6,283
資産の部合計	1,405,248	1,488,742
<b>負債の部</b>		
預金	1,312,266	1,384,005
譲渡性預金	3,000	3,000
借入金	644	11,188
その他負債	10,766	11,845
賞与引当金	328	82
役員賞与引当金	20	—
退職給付に係る負債	1,801	1,798
役員退職慰労引当金	4	3
睡眠預金払戻損失引当金	121	120
ポイント引当金	27	33
繰延税金負債	—	12
再評価に係る繰延税金負債	2,238	2,238
支払承諾	4,606	3,794
負債の部合計	1,335,825	1,418,121
<b>純資産の部</b>		
資本金	7,761	7,761
資本剰余金	4,989	4,989
利益剰余金	49,374	49,419
自己株式	△931	△931
株主資本合計	61,193	61,238
その他有価証券評価差額金	3,477	4,619
土地再評価差額金	4,882	4,882
退職給付に係る調整累計額	△284	△272
その他の包括利益累計額合計	8,075	9,229
新株予約権	152	152
純資産の部合計	69,422	70,621
負債及び純資産の部合計	1,405,248	1,488,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
経常収益	5,459	5,493
資金運用収益	3,829	3,754
(うち貸出金利息)	2,995	2,930
(うち有価証券利息配当金)	764	795
役務取引等収益	669	628
その他業務収益	792	1,043
その他経常収益	168	66
経常費用	5,016	4,981
資金調達費用	76	61
(うち預金利息)	73	59
役務取引等費用	601	591
その他業務費用	643	944
営業経費	3,260	3,138
その他経常費用	433	245
経常利益	443	511
特別利益	18	—
固定資産処分益	18	—
特別損失	27	9
固定資産処分損	27	9
税金等調整前四半期純利益	434	502
法人税、住民税及び事業税	165	204
法人税等合計	165	204
四半期純利益	269	297
親会社株主に帰属する四半期純利益	269	297

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	269	297
その他の包括利益	△144	1,154
その他有価証券評価差額金	△147	1,141
退職給付に係る調整額	2	12
四半期包括利益	124	1,452
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124	1,452

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の処理

当行及び連結子会社の税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大やそれに伴う経済活動停滞による影響は2021年3月頃まで続くものと想定し、特に当行の貸出金等の信用リスクに一定の影響があると認識しております。このような状況下において、見積りに影響を及ぼす入手可能な情報を考慮して貸倒引当金を算定し、2020年3月期にて予防的に積み増しております。

当該仮定には不確実性があり、新型コロナウイルス感染症の状況や経済への影響が変化した場合には、損失額が増減する可能性があります。



## 2021年3月期 第1四半期決算説明資料

### 1. 損益状況【単体】

> 当四半期の**経常収益**は、有価証券利息配当が増加したものの、株式等売却益が減少したことなどから、前年同四半期比140百万円減少(△2.9%)の4,668百万円となりました。  
 > **コア業務粗利益**は、貸出金利回りの低下などにより貸出金利息が減少したものの、有価証券利息配当が増加したことから、前年同四半期比21百万円増加(0.6%)の3,793百万円となりました。  
 > **コア業務純益**は、コア業務粗利益が増加したことに加え、経費が減少したことにより、前年同四半期比163百万円増加(26.7%)の773百万円となりました。  
 > **経常利益**は、コア業務純益が増加したことに加え、与信費用が減少したことなどから、前年同四半期比226百万円増加(52.0%)の661百万円となり、**四半期純利益**は、前年同四半期比168百万円増加(56.9%)の463百万円となりました。  
 > なお、2021年3月期第2四半期累計期間業績予想比進捗率は、経常収益が53.6%、経常利益が94.4%、四半期純利益が92.6%と順調に推移しております。

(単位:百万円)

	当四半期 21年3月期 第1四半期 累計期間	前年同四半期 20年3月期 第1四半期 累計期間	増減		21年3月期 第2四半期 累計期間 業績予想値 (6ヶ月間)	<参考> 20年3月期 実績 (12ヶ月)
			金額	増減率(%)		
<b>経常収益</b>	4,668	4,808	△ 140	△ 2.9	8,700	18,849
<b>コア業務粗利益</b> (債券損益を除く業務粗利益)	<b>3,793</b>	<b>3,772</b>	<b>21</b>	<b>0.6</b>		<b>14,727</b>
資金利益	3,900	3,859	41	1.1		15,088
役員取引等利益	△ 111	△ 97	△ 14	△ 14.4		△ 396
その他業務利益	29	52	△ 23	△ 44.2		△ 111
(うち債券損益)	24	41	△ 17	△ 41.5		△ 145
経費(除く臨時処理分) (△)	3,019	3,161	△ 142	△ 4.5		12,411
<b>コア業務純益</b>	<b>773</b>	<b>610</b>	<b>163</b>	<b>26.7</b>		<b>2,315</b>
除く投資信託解約損益	719	610	109	17.9		2,315
(実質業務純益) ※1	798	652	146	22.4		2,170
有価証券関係損益 ※2	△ 69	△ 7	△ 62	△ 885.7		△ 318
一般貸倒引当金繰入額① (△)	43	6	37	616.7		190
不良債権処理額② (△)	15	149	△ 134	△ 89.9		△ 75
貸倒引当金戻入益③	-	-	-	-		-
償却債権取立益④	9	12	△ 3	△ 25.0		61
<b>経常利益</b>	<b>661</b>	<b>435</b>	<b>226</b>	<b>52.0</b>	<b>700</b>	<b>2,115</b>
特別損益	△ 9	△ 8	△ 1	△ 12.5		△ 55
税引前四半期(当期)純利益	652	427	225	52.7		2,060
法人税等 (△)	189	131	58	44.3		911
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>463</b>	<b>295</b>	<b>168</b>	<b>56.9</b>	<b>500</b>	<b>1,148</b>
与信費用⑤ (=①+②-③) (△)	59	156	△ 97	△ 62.2		114
実質与信費用⑥ (=⑤-④) (△)	49	143	△ 94	△ 65.7		53

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※1 実質業務純益 = コア業務純益 + 債券損益 ※2 有価証券関係損益 = 債券損益 + 株式損益

## 2.預金、貸出金等の残高【単体】

> 当四半期末の**預金残高**は、個人預金及び法人預金が増加したため、預金残高全体(譲渡性預金含む)では前年同四半期末比336億円増加(2.5%)の1兆3,883億円となりました。  
 > **預かり資産残高**は、生命保険残高及び投資信託残高が減少したため、前年同四半期末比16億円減少(Δ1.4%)の1,161億円となりました。  
 > **貸出金残高**は、事業性貸出及び個人ローン残高が増加したため、前年同四半期末比222億円増加(2.5%)の9,233億円となりました。

### (1)預金残高

(単位:百万円)

	2020年6月末 (A)	2019年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2020年3月末
預金総額(譲渡性預金含む)	1,388,318	1,354,682	33,636	1,316,940
預金	1,385,318	1,351,682	33,636	1,313,940
個人預金	992,940	972,282	20,658	968,230
法人預金	346,039	320,493	25,546	315,979
公金・金融機関	46,338	58,906	Δ 12,568	29,730
譲渡性預金	3,000	3,000	0	3,000

### (2)預かり資産残高

(単位:百万円)

	2020年6月末 (A)	2019年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2020年3月末
生保・投信預かり残高	116,170	117,806	Δ 1,636	115,944
生命保険	88,627	89,526	Δ 899	89,404
うち個人年金保険	11,094	12,592	Δ 1,498	11,561
投資信託残高	27,543	28,280	Δ 737	26,539

(参考)

	2020年6月末 (A)	2019年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2020年3月末
国債等預かり残高	6,948	7,184	Δ 236	6,892

※生命保険は「有効契約の保険料残高(平準払保険を除く)」を記載しております。

### (3)貸出金残高

(単位:百万円)

	2020年6月末 (A)	2019年6月末 (B)	増減 (A) - (B)	2020年3月末
貸出金総額	923,394	901,151	22,243	906,791
事業性貸出金	485,663	462,603	23,060	471,143
個人ローン	353,570	349,543	4,027	354,038
住宅ローン	324,136	319,714	4,422	323,981
その他ローン	29,433	29,828	Δ 395	30,056
地公体貸出	84,160	89,004	Δ 4,844	81,610

(注)2020年6月末より、貸出金残高の表示区分を変更しております。

2020年3月末及び2019年6月末については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

### 3.金融再生法ベースの категорияによる開示【単体】

＞当四半期末の金融再生法開示債権は、前年同四半期末比757百万円減少し16,920百万円となりました。また、総与信に占める割合は、前年同四半期末比0.13ポイント低下して1.81%となりました。

(単位:百万円)

	2020年6月末		2019年6月末	2020年3月末	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	4,965	5,549	5,549	4,849	4,849
危険債権	11,877	11,829	11,829	11,800	11,800
要管理債権	77	298	298	73	73
合計(A)	16,920	17,677	17,677	16,722	16,722
総与信額(B)	930,690	908,139	908,139	914,603	914,603
総与信に占める割合(A)/(B)	1.81%	1.94%	1.94%	1.82%	1.82%

(注) 1. 上記の2020年6月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

2. 算定方法については、当行の定める「資産の自己査定基準」に基づき、2020年6月末時点で実施した資産査定結果による債務者区分を前提としております。
3. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

※ 債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権	実質破綻先、破綻先の債権
危険債権	破綻懸念先の債権
要管理債権	要注先のうち、元本または利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、または貸出条件を緩和している債権

### 4.自己資本比率(国内基準)【単体・連結】

＞当四半期末自己資本比率は、単体が前年同四半期比0.49ポイント低下し8.90%、連結が前年同四半期末比0.50ポイント低下し、9.16%となりました。

(単位:百万円)

	2020年6月末		2019年6月末		2020年3月末	
	単体	連結	単体	連結	単体	連結
自己資本比率	8.90%	9.16%	9.39%	9.66%	8.87%	9.16%
自己資本の額	60,639	62,929	60,191	62,443	60,126	62,576
リスク・アセット等	681,162	686,864	640,398	645,750	677,240	682,589
総所要自己資本額	27,246	27,474	25,615	25,830	27,089	27,303

## 5.時価のある有価証券の評価差額【単体】

＞当四半期末のその他有価証券の評価差額は、前年同四半期末比2,474百万円減少し、6,603百万円の評価差益となりました。

(単位:百万円)

	2020年6月末				2019年6月末				2020年3月末			
	時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち		時価	評価差額	うち	
			益	損			益	損			益	損
その他有価証券	343,074	<b>6,603</b>	9,327	2,723	354,193	<b>9,077</b>	10,502	1,424	343,286	<b>4,977</b>	8,645	3,667
株式	14,090	<b>246</b>	2,032	1,786	13,515	<b>588</b>	1,833	1,244	13,105	<b>△ 759</b>	1,425	2,184
債券	245,710	<b>3,445</b>	3,611	166	273,300	<b>5,601</b>	5,604	2	254,112	<b>3,670</b>	3,869	199
その他	83,273	<b>2,912</b>	3,682	770	67,377	<b>2,887</b>	3,065	178	76,067	<b>2,066</b>	3,350	1,284

(注)2020年6月末の「評価差額」は、2020年6月末時点の帳簿価格(償却原価法適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。